【コース設定担当からのご案内】

＜はじめに＞

AR 日本橋「鉄道ブルベ」シリーズ第 6 弾となる、当 BRM へのご参加ありがとうございます。

鉄道ブルベシリーズでは、「SL 銀河(現在は運行終了)」が運行される JR 釜石線(花巻-釜石間)を走行するブルベを 2023 年に、「SL ばんえつ物語」が運行される JR 磐越西線(新津-会津若松)を走行するブルベを 2025 年にそれぞれ開催いたしました。

今回は、JR 各社が運行する SL 列車のなかでも最も歴史のある「SL やまぐち」を追いかけるブルベとして、新山口駅をスタート地点とする BRM を企画いたしました。本年 8 月まで、SL やまぐち号の牽引機関車は D 51-200 号機でしたが、10 月より、SL やまぐち運行開始当初から牽引機を務めている C57-1 号機が 2020 年以降の長期修理を終え復活するのを記念する企画ともなっています。

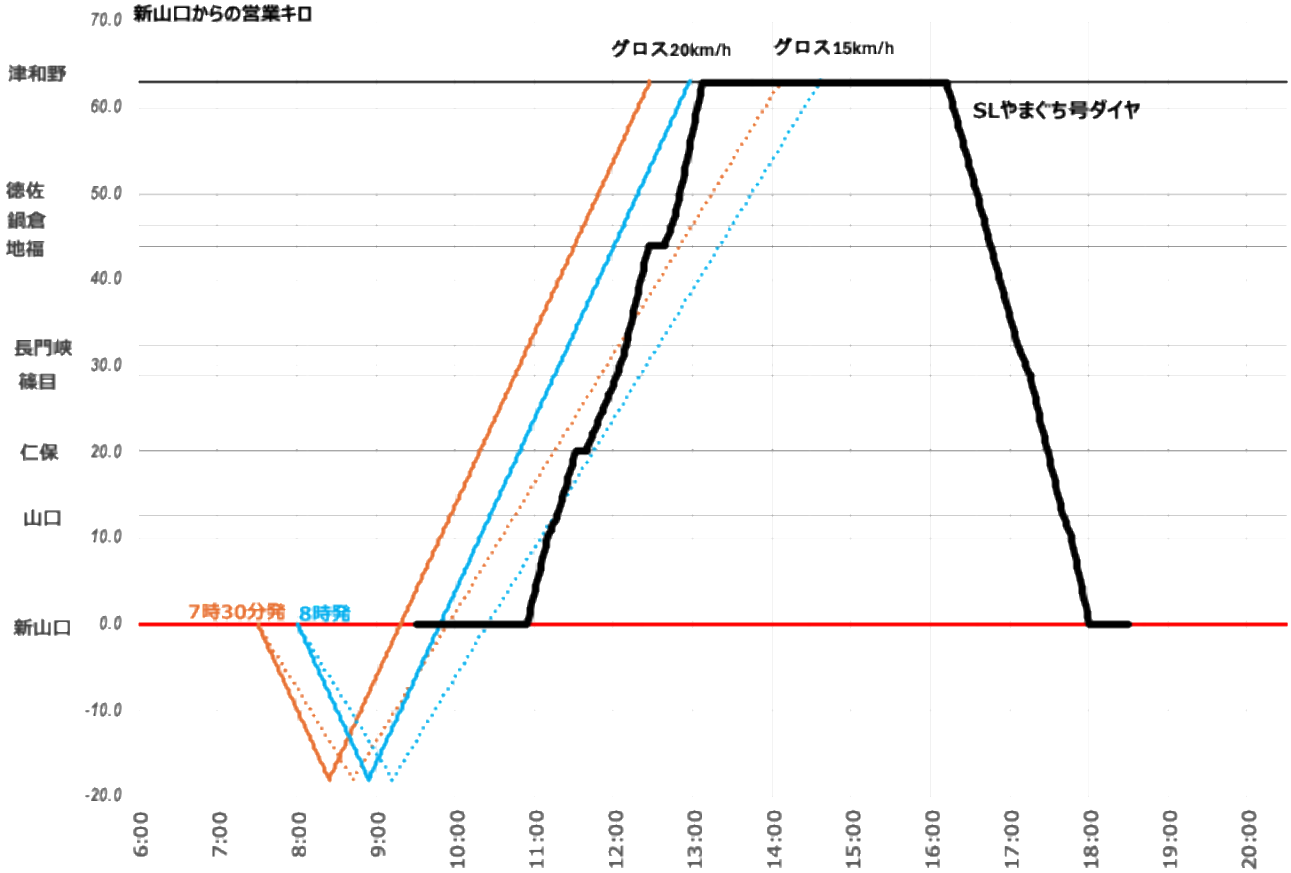
＜コース概要＞

SL やまぐちの運行区間は、新山口駅～津和野駅(山口線)間 62.9km の往復となっています。これを単純に往復するコースとしても、200km ブルベに仕立てるには距離が不足いたします。また、SL やまぐち号の新山口駅発時刻が 10:52 と、一般的なブルベのスタート時刻に比べ大幅に遅いため、参加者の皆様と SL との遭遇チャンスをできる限り増やすための調整も必要となりました。そこで、以下のようなコース設定としております。

1) 遠方からの参加者の便宜に配慮し、新幹線停車駅である新山口駅(付近)をスタートとする一方、SL の出発に向けた準備時間に再び新山口駅に戻ってくるよう、一度宇部方面に向かって往復(迂回)するルートを設定しました。
2) 新山口駅付近で SL の出発準備(出庫、機回し、駅ホームへの回送など)を見学した上で走行を再開しても、SL 走行経路上で SL と遭遇可能なルート設定としました。
3) 津和野駅までの途中経路上で SL に追い抜かれたとしても、津和野駅着後の機回し(転車台での方向転換など)の見学も可能となるように配慮いたしました。
4) 往路及び津和野駅着後の SL 見学を終えて再出発すると、復路では SL との遭遇が極めて困難であること(SL の走行スピードが一般的なブルベ参加者の平均車速を上回るため)、復路も SL 走行経路をなぞった場合、総距離がなお不足することを踏まえ、津和野駅から先は別の見どころをご用意しました。
5) 津和野から島根・山口県境を越えると、第三セクター鉄道「清流錦川線」に並行して錦川沿いを緩やかに下っていくルートとなります。「清流錦川線」は、もともと山陽本線の岩国から山口線の日原駅までを結ぶ「国鉄岩日線」として開業したものです(現在の終点である錦町駅から日原駅までは未成線)。同線には、新幹線との乗換が日本一？不便な駅として知られる清流新岩国駅があり、こちらも今回のルート上に含まれます。
6) 錦川には、日本三名橋のひとつである「錦帯橋」が架かっており、本ブルベにおいても写真チェックポイントとしております。また、錦川には、増水時に水没する「沈下橋」がいくつか架かっており、本ブルベではそのうちの一つを実際に走行していただくよう設定しております。
7) ゴール地点は、日本三景の一つであり、世界遺産でもある「安芸の宮島・厳島神社」最寄駅の JR 宮島口駅といたしました。

＜SL との遭遇タイミング＞

SL との遭遇場所、タイミングを考えるご参考として、SL やまぐち号のダイヤに、ブルベの走行パターン(グロス 20km/h と 15km/h、7:30、8:00 スタートの 4 パターン)を重ねた参考チャートを作成しました。ネット上の情報を総合しますと、新山口駅では概ね 9:30 頃に SL が出庫、その後留置線上の客車との連結、駅ホームへの回送などが行われるようです(チャート上、新山口駅の部分に 9:30-11:00 頃まで横線が引いてあるのはそれを念頭に置いたものです)



注)縦軸は JR 山口線の営業キロ表示であり、実際のブルベ走行ルートの距離とは異なります。ブルベ走行ルートと山口線が離れている箇所もあり、チャート上で線が重なっていても SL を視認できない場合もあります。